

対面朗読スタッフの声

普段、自分が読まないようなジャンルの本を、その方を前にして読むのは始めは緊張しましたが、毎回、楽しい会話と共に読書の時間を共有するのは、何にも代えがたい貴重な経験になりました。一冊の本を読みこんで準備することは、大変ですがとても勉強になります。担当の皆さんとの交流で、自分の世界が広がり、感謝しています。

読んだ本の内容、感動をその場で分かち合える事がやりがいです。

対面朗読を通じ、利用者の方々に喜んでいただけることや、読書範囲が広がることなど、生活にハリが生まれています。

利用者様のリクエストで1回の朗読は2時間程度、スタッフが交代で担当します。新たな作品との出会いも多く、事前準備からワクワクします。また利用者様との会話も楽しみのひとつです。

夢中になって耳を傾けてくださる姿に喜びを感じます。利用者の方と、朗読本内容に共感したりお話したりして楽しく時間が過ぎます。利用者の方に朗読しながら、自分が学んだり、楽しんだりしています。

読んだことのない本との出会いが楽しかったです。同じ作者の本を読んでみたりしました。大人への朗読は初めてで、緊張感を味わうことができました。日頃、はっきりと発音するように気をつけるようになりました。朗読することによって作者の文章の癖や表現の工夫に気が付くことができました。

我孫子市民図書館

市民スタッフ活動紹介

市民スタッフとは…

市で実施する事業に、市民の視点をより積極的に取り入れるために始まった制度です。現在、市のさまざまな事業で活躍しています。

我孫子市民図書館では、「**対面朗読**」と「**読書普及**」の2つの事業にご協力いただいています。

募集

対面朗読市民スタッフ募集のお知らせ

令和8年4月採用の新規スタッフを募集します。

応募資格：市内在住、在勤、在学の18歳以上の方（高校生不可）
申込用紙：市内図書館で配布、または図書館HPよりダウンロード。
申込期間：令和7年12月16日（火）～令和8年1月16日（金）

午前9時30分～午後5時

※図書館休館日を除く

申込方法：アビスタ本館2階事務室に申込書を
本人が持参してください（郵送不可）。



図書館HP

対面朗読担当スタッフ

文字を読むのが困難な方に市民スタッフが1対1で朗読します。図書、雑誌、新聞など、ご希望のものをお読みします。

「利用者の方の目になること」を目的とし、俳優やプロの朗読者のように感情を込めた朗読ではなく、淡々と事実を伝えるよう心がけています。

このほか楚人冠講座などイベントでの朗読も行っています。



対面朗読風景

左写真は、利用者のご希望の本を朗読している様子です。
アビスタ本館と布佐分館には対面朗読専用の部屋があります。

楚人冠講座での朗読

杉村楚人冠記念館・図書館合同イベントでは、スタッフによる朗読を交えながら、楚人冠記念館学芸員が解説しました。



読書普及担当スタッフ

さまざまな世代の方に読書の楽しさを知ってもらうための活動を行っています。読み聞かせに必要な知識を身につけるために、絵本に関する研修を受けて、活動に臨みます。

主な活動内容は、

- ・ 布佐分館でのおはなし会
- ・ そよかぜおはなしタイム（移動図書館でのおはなし会）
- ・ 離乳食教室（保健センター）での乳児と保護者への読み聞かせ
- ・ 生涯学習出前講座大人が楽しむおはなし会 などです。

布佐分館でのおはなし会

布佐分館のおはなしの部屋で、絵本の読み聞かせや素話（昔話などを語ること）を行います。



そよかぜおはなしタイム

移動図書館そよかぜ号の川村保育園ステーションでのおはなし会です。

問い合わせ 我孫子市民図書館 アビスタ本館
電話：04-7184-1110

- ・ 対面朗読のお申し込み、問い合わせはハンディキャップ担当へ
- ・ 市民スタッフの活動についての問い合わせは市民スタッフ担当へ